

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	兵庫県・姫路市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	姫路歴史文化遺産活用事業		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>姫路市は古代播磨国府の地であり近代に至るまで播磨国の中心として豊かな歴史文化遺産を有するが、およそ534km<sup>2</sup>にわたる広大な市域の周縁の過疎化や中心市街地の沈滞が進行している。また姫路市域に伝わる歴史文化遺産はともすれば世界遺産姫路城の陰に埋没しがちである。そこで平成28年度までの事業を踏まえ、世界遺産姫路城の活性化と連携しつつ、まず世界遺産エリアに接する近世姫路城外曲輪＝「姫路町」、古代以来の港であり近世姫路城の外港「飾万津」、姫路市西部の揖保川河口部の港湾「網干」、姫路市東部の的形川河口部の港湾「的形」を中心とする姫路市南部域の歴史文化遺産を活用した地域の文化振興と新たな地域コミュニティの形成、姫路の歴史文化遺産の情報発信と観光振興を推し進め、次いで姫路市北部域の廣峯神社、増位山随願寺などの宗教文化遺産を活用した事業を計画推進し、播磨の歴史文化都市姫路を総合的にアピールしていくための諸事業を展開する。</p> <p>平成29年度は、「姫路町」の祭礼文化を活用した普及啓発、「網干」の古道界隈の歴史文化遺産を活用した普及啓発、「飾万津」の祭礼風流の総合調査、「的形」の姫路藩和船の操船ならびに建造文化の普及啓発、市域に残る追儺行事の調査研究と記録事業を行い、世界遺産姫路城を基軸としてその南部域を重点的に地域コミュニティの形成・活性化、地域振興と情報発信を進め、世界遺産姫路城・歴史文化都市姫路のイメージアップを図る。</p> <p>本計画は「姫路市総合計画ふるさと・ひめじプラン2020」第3次実施計画(平成27-29年度)、「姫路市歴史文化基本構想(平成24年策定)」の考え方を取り入れながら、次の事業を実施するものである。</p> <p>1. 地域の文化遺産次世代継承事業</p> <p>(3) 普及啓発事業</p> <p>姫路町の祭礼文化 網干ロマン街道めぐり 和船を繰る文化 和船を造る文化</p> <p>(4) 調査研究事業</p> <p>飾万津祭礼風流の調査研究 姫路の追儺行事の調査研究</p> <p>2. 伝統文化継承基盤整備</p> <p>(1) 記録作成事業</p> <p>姫路の年中行事</p>			
6 実施体制			
<p>本事業については、姫路市が全体計画の企画、調整、事業の指導等を行う。</p> <p>主な担当課、役割</p> <p>教育委員会文化財課：文化財・伝統文化の取り扱いに関する企画、調整、指導等 産業局観光振興課：観光業務との連携や企画、調整、事業の指導等</p> <p>また、補助事業は、次の団体が実施する。</p> <p>『姫路歴史文化遺産活用事業実行委員会』（委員長：大樹 孝啓） 構成団体（姫路市文化財保護協会、播磨学研究所、網干歴史ロマンの会、 姫路藩和船文化協議会、飾万津祭礼保存会、播磨国総社一ツ山大祭・三ツ山大祭保存会）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 13,959 千円	平成29年度申請額： 11,085 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	

9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）

姫路の歴史文化遺産に対する市民の関心を高め、市民の主体的な取り組みによる歴史文化遺産の保存、次世代への確実な継承、地域の活性化が期待でき、観光振興施策「もてなしの街・姫路」を充実させるための基盤形成が期待できる。

さらに「姫路市総合計画ふるさと・ひめじプラン2020」第3次実施計画(平成27-29年度)において、基本目標1の政策1(観光客受入体制の充実)は「訪問数の目標値」850万人に対しすでに918万人(H25)と上回っているが、本事業計画は政策2(回遊性の向上による多彩な観光の推進)に寄与し滞在型旅行者目標値36,0%に対する実績値28,7%(H25)を8~10%向上させ目標値となることを想定している。

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）

事業概要：	『姫路の年中行事』（H28調査研究事業成果冊子）の普及啓発と活用（増刷・931全自治会、公共機関等に配布活用）
事業概要：	「姫路の歳時」（年中行事調査成果）を毎月複数回、姫路ケーブルテレビ自主制作・放映
事業概要：	

11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

平成24年度『姫路市歴史文化基本構想』策定済み

12 担当部局

地方公共団体 担当部局課	姫路市教育委員会文化財課
-----------------	--------------

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	近世姫路城と旧姫路町の鎮守であった播磨国総社及び旧姫路町エリアへの外国人観光客の年間来訪数の増加			関連事業 :	事業①	
目標値 1 :	平成 28 年度 200 人 ⇒ 平成 33 年度 660 人					
設定根拠 1 :	姫路への外国人観光客約30万人に対し平成28年度策定予定「姫路市観光戦略プラン」が1.3倍の目標値なので29年度より毎年30%増の数値を設定する。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	網干地域の歴史文化遺産への年間来訪者数の増加			関連事業 :	事業②	
目標値 2 :	平成 28 年度 2,000 人 ⇒ 平成 33 年度 5,000 人					
設定根拠 2 :	姫路市総入込客数(姫路市シティプロモーション推進課調査)27年度915万人から28年度1190万人(30%増)を指標に、28年度網干訪問者数2000人の30%増(600人)を毎年の訪問増加数とする。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 3 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 3 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	的形地区への年間来訪者数の増加			関連事業 :	事業③	
目標値 3 :	平成 28 年度 600 人 ⇒ 平成 33 年度 2,000 人					
設定根拠 3 :	姫路市総入込客数(姫路市シティプロモーション推進課調査)27年度915万人から28年度1190万人(30%増)を指標に28年度訪問者数800人の30%増(240人)を毎年の訪問増加数とする。					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 4 :	その他					
評価指標区分 4 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	和船を造る文化フェイスブック「いいね」の増加			関連事業 :	事業④	
目標値 4 :	平成 28 年度 0 件 ⇒ 平成 33 年度 1,013 件					
設定根拠 4 :	29年度に和船を造る文化フェイスブックを開設、「いいね」見込み数を200とし、毎年50%増加を目標として情報発信に努める。					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
件	件	件	件	件	件	

目標区分5：	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分5：	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標5：	一般市民の祭礼見学者数(調査研究事業平成29年度限り)			関連事業：	事業⑤	
目標値5：	平成 28 年度		10,000 人	⇒	平成 33 年度 30,000 人	
設定根拠5：	平成28年度一般市民の祭礼見学者数約1万人(27年度8千人)に対し前年度伸び率1.25倍を設定					
進捗状況5：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分6：	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分6：	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標6：	一般市民の追儺行事見学者数(調査研究事業平成29年度限り)			関連事業：	事業⑥	
目標値6：	平成 28 年度		2,400 人	⇒	平成 33 年度 4,800 人	
設定根拠6：	追儺行事を行う6箇所について調査研究に基づく啓発と報道・放映により現状推定1,200人程度の見学者数を倍増させる					
進捗状況6：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分7：	その他					
評価指標区分7：	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標7：	平成28年度「姫路の年中行事」悉皆調査の成果に基づき、29年度継続調査の「追儺行事」及び消滅しつつある稀少な年中行事を記録し、報道放映件数を増加させるとともに、動画サイトの閲覧回数を増加させて関心を高めるとともに伝統文化の継承意欲を向上させる			関連事業：	事業⑦	
目標値7：	平成 28 年度		0 件	⇒	平成 33 年度 10,125 件	
設定根拠7：	動画発信サイトに初回登録で年間2000件の閲覧を目標値とし、啓発活動により年50%増の国内外での閲覧を目標値に定める					
進捗状況7：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
件	件	件	件	件	件	



事業④：	和船を造る文化	実施団体：	姫路藩和船文化協議会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	消滅に瀕した和船を造る文化を啓発するため、兵庫県内で唯一継承されている的形で和船を造る文化講習会を開催し、木の特色と姫路・播磨灘の潮と風を踏まえた和船造りの文化を新聞報道、テレビ放映を通じて広くアピールを行う。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	SNS情報発信(和船を造る文化フェイスブック開設と「いいね」増加)					
目標値：	平成 28 年度	0 件	⇒	平成 33 年度	1,013 件	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
件	件	件	件	件	件	
事業⑤：	飾万津祭礼風流の調査研究	実施団体：	飾万津祭礼保存会			
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	近世姫路城の外港であった飾万津祭礼(恵美酒宮と浜の宮の秋季祭礼の総称)について、平成27年度に記録・調査事業、平成28年度に祭礼組織調査を行い、今年度は播磨の祭礼行事の中心になっている太鼓屋台の風流発祥地としての飾万津祭礼風流の調査研究を行い、祭礼風流の継承と祭礼文化への関心を広く高め、現地訪問者数の拡大をめざす。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	一般市民の飾万津祭礼見学者数					
目標値：	平成 28 年度	10,000 人	⇒	平成 33 年度	30,000 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
事業⑥：	姫路の追儺行事調査研究	実施団体：	姫路市文化財保護協会			
事業区分：	調査研究	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	平成28年度「姫路の年中行事」調査研究を踏まえ、そのなかで追儺行事の調査研究を行い、保存活用ならびに普及啓発の基礎を作り、あわせて市民のみならず広く世界への情報発信の基礎を作る。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	一般市民の追儺行事見学者数					
目標値：	平成 28 年度	2,400 人	⇒	平成 33 年度	4,800 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

事業⑦：	姫路の年中行事					実施団体：	姫路市文化財保護協会				
事業区分：	記録作成					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	平成28年度「姫路の年中行事」調査研究の成果を踏まえ、各地に残る貴重な行事を記録しケーブルテレビで放映を行って市民の関心を高めるとともに、一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟のポータルサイト「じもテレ」に普及版記録動画をアップし国内・海外への情報発信を行う。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	動画発信サイト「じもテレ」で年間2000件の閲覧を初回目標値とし、啓発活動により年50%増の国内外での閲覧を目標値に定める										
目標値：	平成 28 年度		0 件		⇒		平成 33 年度		10,250 件		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
件	件	件	件	件	件						